

ひょうご農業委員会 女性ネットワークだより

ひょうご農業委員会
女性ネットワークについて

発足：平成19年3月、平成28年度名称変更
役員：会長・高尾利美（豊岡市農業委員会）、
副会長・藤木悦子（宍粟市農業委員会）、副会長・松田 静（赤穂市農業委員会）

農業委員会会長・事務局長会議内で女性ネットワークとの意見交換会

女性登用の促進を依頼

令和6年11月14日、兵庫県農業共済会館で開催された農業委員会会長・事務局長会議で、ひょうご農業委員会女性ネットワークとの意見交換会を初めて実施した。

はじめに、直近の改選で女性委員が増加した2委員会が事例報告。0人から5人に増加した多可町は、前会長が、次期改選には女性委員を入れないといけないと地域の農会長らに女性の推薦を呼び掛けたことで実現した。1人から5人に増加した丹波篠山市は、前々回の改選時の5人から前回の改選時に1人に減少し、女性委員が活動しづらそうだったことから、会長や会長職務代理者がやっぱり女性委員は複数必要だと、地域に女性の推薦を

依頼して回ったことを紹介した。

次に、ひょうご農業委員会女性ネットワークの正副会長が、全国や県内の女性委員の研修会などで出た意見を代弁。「二人だとなかなか言いづらい」、「農業委員会の会長や地域の農会長などの男性から後押ししてもらえると引き受けやすい」、「事務局にも女性がいると相談しやすい」といった意見を紹介したほか、「女性自身の意識改革も必要。女性だから選ばれたのではなく、あなたにお願いしてよかったと思ってもらえるようになろう」と女性委員に呼びかけました。



会長事務局長会議の様子



40市町の会長・局長を前に女性委員の声を代弁する正副会長

令和6年度第1回女性委員交流研修会 新潟県阿賀野市農業委員会 笠原尚美会長職務代理者を講師に招へい

ひょうご農業委員会女性ネットワークは、令和6年度第1回女性委員交流研修会を令和6年9月4日に神戸市の兵庫県農業共済会館とオンラインの併用で開催し、会場には県内農業委員会の女性委員16人が出席しました。

研修では、新潟県阿賀野市農業委員会会長職務代理者で、全国農業委員会女性協議会の副会長も務める笠原尚美さんを講師に招へいました。

まず、農林水産省の補助事業の環境で作成し、笠原さんも出演する「女性性が活躍中！地域農業の未来をつくる農業委員の1日」の動画を視聴しました。（動画は下記QRコードから視聴できます）

動画では、地域計画の策定に向けて制度説明や農業者からの相談に応じる笠原さんの活動の様子が収められています。

笠原さんからは、実際に地域計画を進めるうえで、土地持ち非農家の

理解を得るのが難しいことから、阿賀野市農業委員会が土地持ち非農家のチラシ作成や農業委員、推進委員用にあっせんマニュアルを作成したことなどの事例紹介があり、農業委員としての活動や女性の登用を進めるにはどうしたらよいかなどについて参加者と意見交換を実施しました。



意見交換の様子



講師の笠原尚美さん



令和6年度第2回女性交流研修会 ランチミーティングを開催

令和7年3月19日に神戸市の兵庫県農業共済会館で、令和6年度第2回女性委員交流研修会を開催し、県内の女性委員23人が出席しました。

今回は、第1回目の参加者アンケートで提案のあったランチミーティングを初めて開催しました。

参加者を1グループあたり5人、6人の4グループに分けて、それぞれの農業委員会の活動や地域の農業の状況、先輩委員への質問など活発に意見交換を実施しました。

参加者からは、「初めての参加で



ランチミーティング

したが、少人数で和やかな雰囲気でお話しやすかった」、「色々な地域の方と情報交換ができて良かった」などの意見がありました。

女性委員の登用促進研修会 都道府県の女性組織の 役員が意見交換

全国農業委員会女性協議会と都道府県の女性委員組織は、1月16日、17日に東京都の主婦会館で、同組織役員を対象に女性委員の登用促進研修会を開きました。全国から118人が参加し、本県からは藤木副会長と松田副会長が参加しました。

栃木県と沖縄県から、女性委員の増加に効果のあった取り組みについて報告がありました。

栃木県は、女性の占める割合が22・6%と平成29年から7年連続全国1位で、市町長や市町議会議長、農業委員会会長にとちぎ女性農業委員の会から登用に関する要請会を実施しているほか、委員のなり手の掘り起こしとして女性団体への呼びかけが効果があったと話しました。

沖縄県は、女性委員と事務局が一

東海・近畿ブロック女性の農業委員会研修会が、令和6年11月26日に奈良県橿原市の橿原文化会館で開か

東海・近畿ブロック女性の
農業委員会研修会
奈良県で開催



女性登用について意見交換

緒に候補者に声掛けや農業委員会業務の説明をしたことを挙げました。グループディスカッションでは、「女性委員登用ゼロを解消するため



農業委員会のおかげで農地が見つかったと話す山本さん

れ、東海・近畿の女性委員ら162人、そのうち本県からは6人が出席しました。株式会社靱工房山本・代表取締役会長の山本一彦さんが、「新規事業としてのトマト栽培」と題して、靱屋から農業に参入した背景を紹介するとともに新規就農や農地探しなどについて農業委員会に相談した結果、就農することができたと話しました。

また、自然派農場しもかわ代表で

なら女性農業者グループ「和母」会長の下川麻紀さんが「女性農業者の立場から農業の楽しさを伝えたい」と題し、「和母」の活動を紹介。女

性農業者の輪を広めようと農業を始めた方と考えている方との意見交換を開催したり、メンバーの圃場見学などを実施し交流していることなどを紹介しました。

東海・近畿ブロック女性の農業委員会研修会は、次年度は、滋賀県で開催されます。

女性の農業委員会活動推進
シンポジウム

令和6年3月5日に、東京都の砂防会館で「女性の農業委員会活動推進シンポジウム」が開かれ、全国から399人、本県からは13人が参加しました。

今回のシンポジウムは、「地域の力を結集し、地域計画の実現に向けた活動に取り組もう」をテーマに開かれました。

山形県農村づくりプロデューサーの高橋信博氏が、「地域計画の実行に向けて」と題して基調講演をしました。山形県内での地域計画の策定事例を紹介し、女性や若者を巻き込んでいくことが重要と話しました。当初は、借り手が見つからない農地

もとりあえず地域の大規模法人などの担い手が農地を借り受けるという地図を作成。その後、女性や若者の意見を聞くと、もっと規模拡大できるといった声が聞こえてきて、最終的には当初の地図から若手農家が借り受ける面積が大幅に増加したと紹介しました。

次に京都府京丹波町農業委員会事務局の永武幸子専門幹が「地域計画の実現を目指して最小人数の事務局を救うのは委員！委員連携活動記録簿」と題して事例報告。「委員さんとの会話を密にすることで、必要な資料を作成したり、地域の課題がわかる」と委員と事務局との信頼関係構築の重要性を話しました。



農業委員会だよりで活動をPR

女性委員の登用状況
前年より15人増加

令和6年は、県内12の委員会で改選が行われ、令和7年1月1日時点での県内女性農業委員・農地利用最適化推進委員数は、前回の調査（令和6年1月1日）から15人増え、82人となりました。

女性委員が在任する農業委員会数は36委員会（全体の90％）で、前回より2委員会増加しました。2人以上の女性委員が在任する農業委員会数は25委員会（同62・5％）となり、前回より6委員会増となりました。

県内の農業委員に占める女性の割合は12・8％で、全国の14・4％に比べ1・6％、また、推進委員は、県内が1・4％で全国の4・1％に比べ2・7％とそれぞれ下回っています。

なお、農業委員に占める女性割合の国の目標は、2025年度までに30％にすることになっています。



各農業委員会 農業委員・推進委員数一覧 （令和7年1月1日）

農業 委員会名		農業委員			推進委員			農業委員・推進委員 合計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
全 国		19,780	3,339	23,119	16,858	716	17,574	36,638	4,055	40,693
女性委員割合		14.4%			4.1%			10.0%		
1	神戸市	15	4	19	30	1	31	45	5	50
2	尼崎市	11	3	14				11	3	14
3	西宮市	13	1	14				13	1	14
4	伊丹市	8	3	11				8	3	11
5	宝塚市	10	3	13	5	0	5	15	3	18
6	川西市	14	2	16				14	2	16
7	三田市	12	1	13	10	0	10	22	1	23
8	猪名川町	13	1	14	4	0	4	17	1	18
9	明石市	13	1	14	6	0	6	19	1	20
10	加古川市	14	4	18	19	0	19	33	4	37
11	高砂市	11	3	14	3	0	3	14	3	17
12	稲美町	12	2	14	17	0	17	29	2	31
13	播磨町	9	1	10				9	1	10
14	西脇市	11	2	14	12		12	23	2	26
15	小野市	11	1	12	15	1	16	26	2	28
16	三木市	6	2	8	15		15	21	2	23
17	加西市	7	2	9	15		15	22	2	24
18	加東市	15		15	12		12	27	0	27
19	多可町	12	5	17	12		12	24	5	29
20	姫路市	18	1	19	36		36	54	1	55
21	神河町	14		14	7		7	21	0	21
22	市川町	11	1	12	8		8	19	1	20
23	福崎町	10	2	12	5	1	6	15	3	18
24	相生市	11	1	12	6		6	17	1	18
25	たつの市	17	2	19	18		18	35	2	37
26	赤穂市	11	2	13	11		11	22	2	24
27	宍粟市	17	2	19	15		15	32	2	34
28	太子町	12	2	14	7		7	19	2	21
29	上郡町	10		10	7		7	17	0	17
30	佐用町	12	1	13	11		11	23	1	24
31	豊岡市	15	4	19	25		25	40	4	44
32	香美町	13	1	14	10		10	23	1	24
33	新温泉町	9	1	10	5	1	6	14	2	16
34	養父市	12	1	13	10	2	12	22	3	25
35	朝来市	12	2	14	13		13	25	2	27
36	丹波篠山市	15	4	19	18	1	19	33	5	38
37	丹波市	22	2	24	25		25	47	2	49
38	洲本市	18	1	19	18		18	36	1	37
39	南あわじ市	15	4	19	35		35	50	4	54
40	淡路市	19		19	19		19	38	0	38
合計		510	75	586	484	7	491	994	82	1,077
女性委員割合		12.8%			1.4%			7.6%		
								女性委員ゼロ市町		4